

鈴木理策写真展 意識の流れ — 関連プログラム

Marugame
Genichiro-Inokuma
Museum of Contemporary Art

Y u j i H a m a g u c h i L i v e

2015年3月28日[土]

18:30開場/19:00開演

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館
3階展示室C

料金＝
一般3,000円
MIMOCA FRIEND会員2,500円
高校生以下1,000円

写真:石田昌隆



濱口祐自
ライブ

濱口祐自ライブ | Yuji Hamaguchi Live

那智勝浦が生んだ話題のギタリスト、濱口祐自が、新宮出身の鈴木理策の作品に囲まれてライブを行います。

ともに熊野信仰の聖地で育った二人による音楽と写真が展示室で呼応するライブは必聴、必見。

ライブ後には濱口と鈴木のアフタートークもあります。またライブとトーク終了後は、21:00まで展覧会をご覧ください。

出演：濱口祐自

日時：2015年3月28日[土] 18:30開場/19:00開演

[ライブ後には濱口祐自と鈴木理策によるトークがあります。]

場所：丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 3階展示室C

定員：150席[全席自由]

料金：[税込/当日の展覧会観覧料含む]

一般=3,000円

MIMOCA FRIEND会員*=

2,500円[会員様ご本人+1枚、合計2枚まで会員料金を適用]

高校生以下=1,000円

主催：丸亀市猪熊弦一郎現代美術館/公益財団法人ミモカ美術振興財団

*MIMOCA FRIEND

MIMOCA FRIEND[ミモカフレンド]は、MIMOCAで開催する展覧会、イベントなどの事業を通して、猪熊芸術及び国内外の現代美術に親しむことを目的として1995年4月に発足しました。MIMOCA FRIENDという名称は猪熊弦一郎が考案したものです。

MIMOCA FRIENDには、さまざまな会員特典があります。詳しくは、美術館ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.mimoca.org/ja/friend/>

チケット購入方法

2015年2月1日[日]10:00より販売/購入申込受付開始
下記2種類の方法でご購入ください。

●窓口販売 [10:00-18:00]

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館1階受付

●ウェブサイトにて購入申込 [3月23日[月]19:00まで]

詳しくは美術館ウェブサイトをご覧ください。

<http://www.mimoca.org/ja/events/2015/03/28/1246/>

ご注意

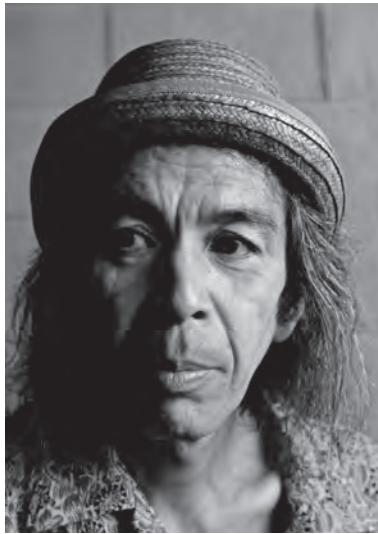
●1名様につき5枚までご購入いただけます。

●限定150席。定数に達次第、販売を終了します。

●お支払い[ご入金]順に整理番号が赋きます。当日、開演時間になりましたら整理番号順にご入場いただけます。

[ご不在の場合は整理番号が無効となり、最後のご入場となります。]

●当日の開演時間中[10:00-18:00/18:30-21:00]に限り、濱口祐自ライブのチケットをお持ちの方は、開催中の企画展「鈴木理策写真展 意識の流れ」、常設展「猪熊弦一郎展 未知へ向かう喜び」をご覧ください。



写真：石田昌隆

濱口祐自 | Yuji Hamaguchi

エリック・サティ、デューク・エリントン、スティーヴン・フォスター、デルタ・ブルースから明治唱歌までを熊野ネイティブ・フィリングたっぷりに演奏する異能のギタリスト。

1980年代：遠洋マクロ漁船に乗り込み、パプアニューギニアに行く。勝浦漁港の古い民家を、みずからの手で切り出した竹を使って改装したサロン(竹林パワー)をオープン[12年間営業を続ける]、同時期に音楽活動を開始する。1990年代：ヨーロッパ[ドイツ、スイス、オランダ、フランス]の各地でストリート演奏の旅を行う。1998年：ソロ・ギター・アルバム『竹林パワー・Dream』を発表。2001年：東京・青山でのフィンガー・ピッキング・ギター・コンテストにおいて会場投票1位のオーデンス賞受賞。2013年：久保田麻琴プロデュースでアルバム制作を開始。10月のサラヴァ東京でのショウケースでは初出場で異例の80名の観客を動員。2014年：年明けのサラヴァ東京ライブでは140名のハウス・レコードを記録する。2014年6月：メジャー・デビュー・アルバム『濱口祐自 フロム カツウラ』を発表。

<http://www.hamaguchiyuji.com>

鈴木理策 | Risaku Suzuki

1980年代半ばより写真を媒体に創作活動をはじめ。1990年に初個展を開催、1998年には故郷の熊野をテーマに初の写真集『KUMANO』を上梓し、翌年出版した『PILES OF TIME』[共に光琳社出版]とともに、シークエンスの手法を用いたナラティブな構成が新しい写真表現と評価され、2000年に第25回木村伊兵衛写真賞を受賞する。その後も、写真というメディアの特性を深く掘り下げ、日本各地に残る古代信仰の場や、南仏サント・ヴィクトワール山、桜、雪、セザンヌのアトリエといった多様な対象にそれぞれ異なるアプローチで取り組み、新たな作品を発表し続けている。

2006年、第22回東川町国内作家賞、平成18年度和歌山県文化奨励賞を受賞。また2008年には日本写真協会年度賞を受賞している。

<http://www.risakusuzuki.com>

「鈴木理策写真展 意識の流れ」

会期：2015年2月1日[日]ー5月31日[日]会期中無休

開館時間：10:00-18:00[入館は17:30まで]

観覧料：一般950円[760円]/大学生650円[520円]/高校生以下または18歳未満・丸亀市内に在住の65歳以上・各種障害者手帳をお持ちの方は無料

●[]内は前売り及び20名以上の団体料金。●常設展の観覧料を含みます。

主催：丸亀市猪熊弦一郎現代美術館/公益財団法人ミモカ美術振興財団

協賛：株式会社熊野新聞社

協力：株式会社カシマ/株式会社KANRI/ギャラリー小柳/ゼロプラス/株式会社ニコン/フォト・ギャラリー・インターナショナル/フォトグラファーズ・ラボラトリー

鈴木の新作及び未発表作を中心に、写真作品約80点と映像作品3点を展示、8×10インチフィルムを使用する大型カメラで撮影された精緻な写真群が、純粋に「見る」ことへと鑑賞者を誘います。タイトルの「意識の流れ」は、「見るという行為に身をゆだねると、取り留めのない記憶や、さまざまな意識が浮かんできて、やがてひとつのうねりの様な感情をもたらしうることがある」という鈴木自身の経験に基づいてつけられたものです。目の前の写真と対峙し、そこに留められた多くのものを意識することで、鈴木が「見た」時間を追体験し、見ることのみずみずしさをあらためて知ることとなるでしょう。

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館/公益財団法人ミモカ美術振興財団

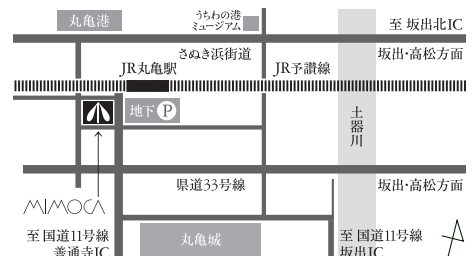
Marugame Genichiro-Inokuma Museum of Contemporary Art / The MIMOCA Foundation

〒763-0022 香川県丸亀市浜町80-1/JR丸亀駅前

80-1 Hama-machi, Marugame-shi, Kagawa 763-0022 JAPAN

お問い合わせ Tel: 0877-24-7755

URL=<http://mimoca.org>



アクセス	鉄道[JR]で	JR丸亀駅下車 南口より徒歩1分	新大阪駅[新幹線で約45分]/博多駅[新幹線で約1時間40分]ー岡山駅ー[松山または高知方面行特急で約40分]ー丸亀駅 高松駅ー[予讃線快速で約30分]ー丸亀駅
	飛行機で	高松空港から 岡山空港から	高松空港ー[タクシー約40分/乗合タクシー約50分*/バス約70分**]ー丸亀駅 *＝高松空港シャトル便[1名片道1,500円/搭乗前日午前中迄の予約制/東讃交通:0877-22-1112] **＝丸亀・坂出・空港リムジンバス[1名片道1,000円/琴参バス株式会社: http://www.kotosan.co.jp/] 岡山空港ー[バス約30分]ーJR岡山駅ー[松山または高知方面行特急で約40分]ー丸亀駅
	高速バスで		東京・横浜・名古屋・大阪・神戸・福岡より直通運行
	お車で	本州方面から 四国内の高速道路から ●丸亀駅前地下駐車場ー	[瀬戸大橋経由]瀬戸中央自動車道 坂出北ICより約10分 [神戸淡路鳴門道経由]高松自動車道 坂出ICより約15分 高松自動車道 坂出IC・善通寺ICより約15分 ー2時間無料[当館1階受付にて駐車券をご提示下さい]